



総会には、来賓や会員(25人)合わせて約40人が出席

国見町

国見田舎歌舞伎保存会設立総会

3月13日(木)、国見田舎歌舞伎保存会設立総会がみんなかんで開催されました。この保存会は、国見田舎歌舞伎愛好会を発展的解消し、田舎歌舞伎の継承と普及を目的に設立されました。今後は、「無形民俗文化財」指定をめざし、定期的な上演や後継者育成のため子ども歌舞伎教室の開催等を行うこととしています。



「200年にわたり国見に伝えられた郷土芸能の歌舞伎を、市の宝として市内に拡げていきたい。」とあいさつする堀田一則会長



国見町の郷土料理を試食する参加者

国見町

国見の家庭料理大集合

3月16日(日)正午から、みんなかんで「心に響く郷土料理大集合」(主催にみグリーンツーリズム研究会)が開催されました。生活の中から生まれた郷土食に磨きをかけ、子どもたちへつないでいこうと、今年で3回目の開催となり、約50人が参加しました。

参加者の皆さんは、タコ飯、だんご汁や上岐部地区の家庭料理「お茶まま」などの郷土料理を試食。宇佐市で生活工房とうがらしを主宰する金丸佐佑子さんの「続・おいしさ以上のもの」と題した講演も行われ、国見町の郷土料理を再認識しました。



強い風雨の中、ゴールめざして歩く参加者の皆さん



国東町

み仏の里くにさきウオーキング

3月23日(日)、第1回み仏の里くにさきウオーキングが開催されました。国東市のすばらしい自然、文化財をもっと知ってもらおうと、今回初めての開催となりました。

風雨の強い悪天候の中、小原の黒津崎お祭り広場を出発して泉福寺・安国寺などを巡る26・13・6キロの3コースに、市内外から約100人が参加しました。

なお、今後は、市内各地でコースを変えて開催される予定です。



安岐町

諸田山神社御田植祭

3月20日(日)、諸田山神社で「諸田山神社御田植祭」(大分県指定無形文化財)が行われました。五穀豊穡・氏子繁栄を祈念して、毎年春分の日で開催されており、文政4年(1821年)から180年以上にわたり諸田地区で受け継がれてきました。

畔塗り、早乙女にふんした小学生男児の田植えなどの一連の作業が、鉦、太鼓、笛の囃子に合わせてユーモラスに演じられたり、張り子の牛が登場して暴れ回ったり、ウナリ(妊婦)が突然産気づいたり、会場内は笑いの渦に巻き込まれていました。